

高齢者

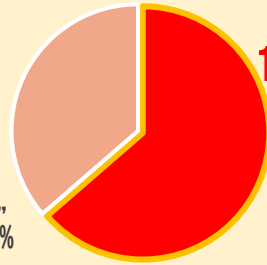
の住宅火災にご注意!



住宅火災による死者の発生状況
(令和元年中)

大阪市内では、毎年住宅火災によって尊い人命が失われています。例年高齢者の割合が高くなっていますので注意してください。

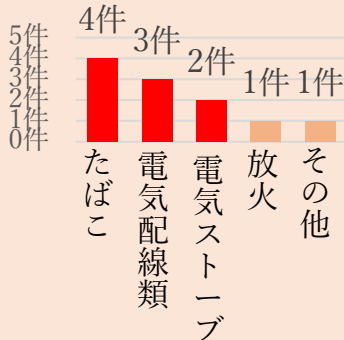
その他、
8人、36%



高齢者、
14人、64%



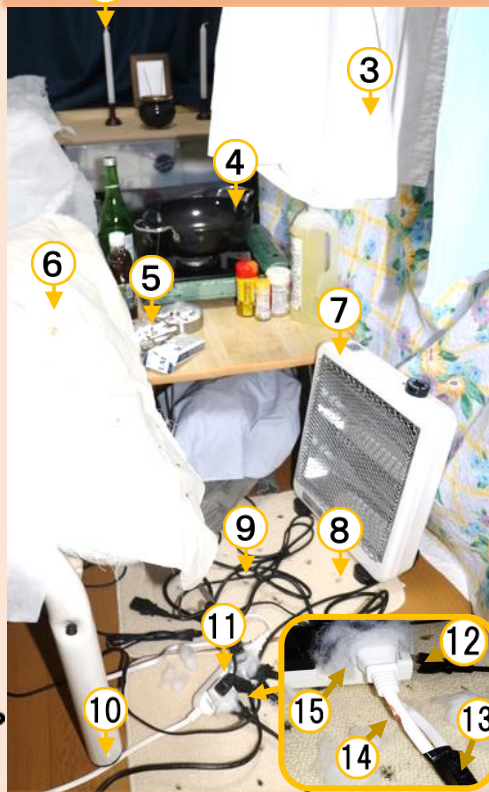
高齢者が死亡した火災の主な出火原因
(令和元年中)



上位3項目は例年多くなっています。これらを中心に火災危険の高い部屋の例を再現しました。



火災等による危険がある部屋の例



- ① 全体的に物が多く、避難が困難
- ② 燃えやすい物の近くでのロウソク、線香の使用
- ③ ストープで洗濯物を乾燥
- ④ 燃えやすい物の近くでのコンロを使用
- ⑤ 燃えやすい物の近くに灰皿があり、さらに吸い殻がたまっている
- ⑥ 寝たばこによる多数の焦げ跡
- ⑦ 布団に近づけてストーブを使用
- ⑧ たばこや線香などの多数の焦げ跡
- ⑨ コードが散乱して、つまづきやすい
- ⑩ コードを踏みつけている
- ⑪ たこ足配線になっている
- ⑫ プラグがしっかりさされていない
- ⑬ 素人によるコードの継ぎ足し
- ⑭ コードが損傷している
- ⑮ プラグにほこりがたまっている

※再現にあたり、西淀川区地域包括支援センターさんのご協力を頂いています

● 整理整頓をしましょう

部屋を整理することで出火や避難の障害など火災時の危険を大きく減らすことができます。また、転倒による負傷などの住宅内事故の危険を減らす効果も期待できます。

● 寝たばこはやめましょう

たばこによる火災は大阪市内でも最も多い出火原因の一つです。特に寝たばこは布団が燃えただけの小さな火災でも死者が発生していますのでとても危険です。

● 寝るときはストーブを消しましょう

布団のそばでストーブを使用したまま就寝する方がいますが、これはとても危険です。布団が発熱部にあたり、火災になって毎年のように死者が発生しています。必ず消してから寝ましょう。

お問合せ 西淀川消防署 ☎06-6472-0119

